

長寿会単位クラブ活動紹介

駅前長寿会

駅前公民館でサロンを開催しています。毎回の参加者は30名ほど。中川会長挨拶の後は、皆さんで体操!リズムに合わせて、熱心に取り組まれています。体操が終わるとフリータイム。それぞれが、好きなこと(体操・ストレッチ・おしゃべり・トランプ・麻雀・歌など)で楽しい時間を共有します。「公民館なら近いで、みんなが歩いて行ける。」「ここへ来ると安心。みんな顔見知り。気持ちがすっきりして帰れる。」(参加者の声)11時半からはランチタイム。食事をしながら、会話ははずみます。

ひにち	時間	場所
毎月第4水曜日	10:00~15:00	駅前公民館

おすすめかた

- ・会長挨拶
- ・ストレッチ・体操
- ・フリータイム
- ・ランチタイム&ほっとひととき



今川西・今川東老人クラブ

元気アップ体操教室

今区コミュニティセンターで体操教室を開催しています。参加者は30名ほど。関山今区長と太田会長が中心となって、認知症予防のための体操や脳トレを実施。気軽に冗談を言い合える和気あいあいとした雰囲気魅力です。半年に1度、食事をしながらの反省会。皆さんの意見を取り入れて、より楽しめる活動を目指しています!今年は初めて南知多への日帰り旅行を企画。予想を超える参加者で楽しい旅となりました。新会員募集中です!まずはご遠慮なく見学に来てください。お待ちしております!

ひにち	時間	場所
毎月第1・第3水曜日	10:00~11:00	今区コミュニティセンター

おすすめかた

- ・体操・ストレッチ
- ・脳トレ&答え合わせ
- ・貯筋運動
- ・365歩のマーチ
- ・整理体操 など、盛りだくさん!
水分補給をしっかりと!



〈問合せ〉 社会福祉協議会 担当：吉田 TEL 96-2940

知っ得! 介護・障がいトピックス

平成30年度介護保険制度改正のポイントを解説!

平成30年4月に介護保険制度が改正されました。
今回は、共生型サービスと自己負担3割負担の導入について紹介します。



介護保険制度改正の経緯とは

介護保険は2000年に高齢者の介護を社会全体で支え合う仕組みとして創設されました。急激な高齢化から年金や医療、介護といった社会保障給付費が過去最高を更新し続け、2025年には団塊の世代が75歳以上となり、認知症の高齢者や65歳以上の単独世帯・夫婦のみの世帯も増加していく見通しです。さらに介護や医療のニーズが高まることが予想されます。そのため、高齢者の自立支援と要介護状態の重度化防止、地域共生社会の実現を図るとともに、制度の持続可能性を確保することに配慮し、サービスを必要とする方に必要なサービスが提供されるようにするため改正されました。

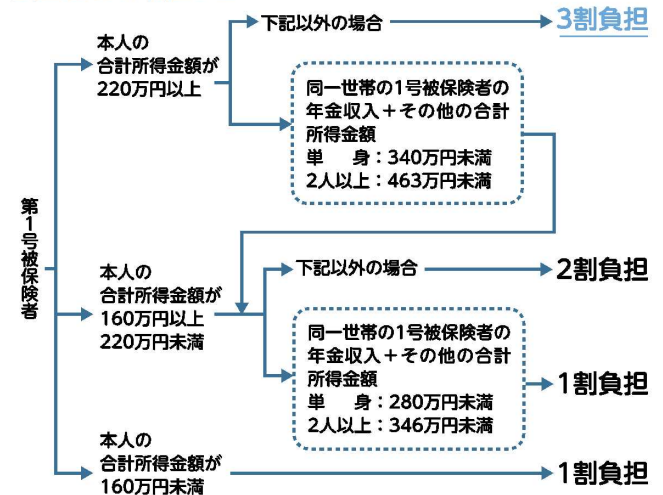
平成30年4月から 新たに「共生型サービス」を位置づけ

介護保険と障害福祉の両制度に新たに「共生型サービス」が位置づけられました。このサービスの目的は、高齢者と障害児者が同一の事業所でサービスを受けやすくすることです。現行では介護保険事業所が障害福祉サービスを提供する場合に、それぞれ指定基準を満たす必要がありました。そのため、たとえば障害福祉サービスを利用してきた方が65歳以上になり、介護保険サービスに移行する際には事業所を変えざるを得ない場合もありました。しかし、新たな「共生型サービス事業所」では、このような不便さの解消が期待されています。

平成30年8月から 自己負担額の見直しで一部3割負担の導入

世代間・世代内の公平性を確保しつつ、介護保険制度の持続可能性を高める観点から、一部のサービス利用者の自己負担を3割に引き上げられます。ただし、月額44,000円の負担上限があります。介護保険サービスの自己負担は、介護保険制度スタートから15年間は原則1割でした。しかし前回の改正で一定以上の所得がある利用者の自己負担を2割に引き上げ、今改正では、さらに2割負担の人のうち現役並みの所得がある方の自己負担が3割となります。厚生労働省の試算によると、3割負担となる対象者数はおよそ12万人（受給者全体の3%ほど）です。

負担割合の判定フロー



●第2号被保険者、市区町村住民税非課税者、生活保護受給者は上記に関わらず1割負担。

新しく入った職員を紹介します!



障害者相談支援事業所
稲山 未来

「地域に根ざした福祉」に携われることをとても嬉しく思っています。これまで関わってきた高齢者分野での経験と、2歳になる息子の育児で培った体力をこれからの仕事に活かせればと思っています。よろしくお願いいたします。



訪問介護事業所
岩下 祐太郎

新しい環境で分からないことも多くありますが、毎日を大切に皆さまのお役に立つよう精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。

みんなで助け合い 安心して

[]内は平成29年度の実績

法人運営事業

会議の開催

理事会(業務執行機関)、評議員会(議決機関)を開催します。また、評議員選任・解任委員会を開催します。
[理事会4回、評議員会3回、監査1回、評議員選任・解任委員会1回]

自主財源の確保

皆さまにご協力いただく会員制会費、福祉愛応援シールや福祉基金により、自主財源を確保します。
[会員制会費5,132,500円、福祉愛応援シール66,839円、福祉基金1,349,025円]

広報

広報紙「笑顔〜かにえの福祉」の発行やホームページの運営を行います。[広報紙年4回発行]

音訳版・点訳版広報を配布

音訳グループと点訳グループのご協力を得て、社協や町の広報紙等の音訳CDや点字作成を行い、視覚障がい者の皆さまへお届けします。

フードバンクの利用

NPO法人セカンドハーベスト名古屋と社協が協定を結び生活にお困りの方に食料品をお届けします。[26件利用]

入浴助成事業(町受託事業) ※平成29年度で終了
町内に住所を有する60歳以上の方で入浴に支障のない方に対し、尾張温泉東海センターに入浴できる利用証と回数券を発行しました。[利用証発行83名、回数券発行459名]

地域福祉推進事業

会食会

65歳以上のひとり暮らし高齢者等を対象に、長寿会連合会の皆さま方のご協力を得て、月1回、食事と温泉入浴・余興をお楽しみいただけます。[延べ551名利用]

友愛訪問活動

65歳以上のひとり暮らし高齢者等を対象に、地域の方が訪問する見守り活動です。[延べ3,266件訪問]

配食サービス(町受託事業)

65歳以上のひとり暮らし高齢者等を対象に、業者による安否確認を兼ねた昼食用のお弁当を自宅まで毎週月曜日から金曜日の内希望日にお届けします。[延べ13,843食利用]



日常生活自立支援事業(県社協受託事業)

認知症高齢者等で判断能力が不十分な方に、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等のサポートを行います。
[相談142件、契約1件]

心配ごと相談事業

弁護士による法律相談(月2回)と民生委員による心配ごと相談(月1回)を行います。[法律相談86件、心配ごと相談7件]

戦没者追悼式事業

先の大戦における本町の戦没者等に対し、御霊を追悼するとともに、恒久平和を祈念するため戦没者追悼式を行います。[64名参列]

ボランティア活動育成事業

ボランティアセンター

ボランティア登録、連絡調整やボランティア活動保険の加入を行います。[31団体1,478名、個人38名登録]

福祉実践教室

小学生が車いす・盲導犬・手話・点字の体験学習を行います。[1,288名参加]

青少年等ボランティア体験学習

中学生・高校生が、町内の保育所や高齢者福祉施設・地域のふれあい・いきいきサロンでボランティアを体験します。[167名参加]

各種講座

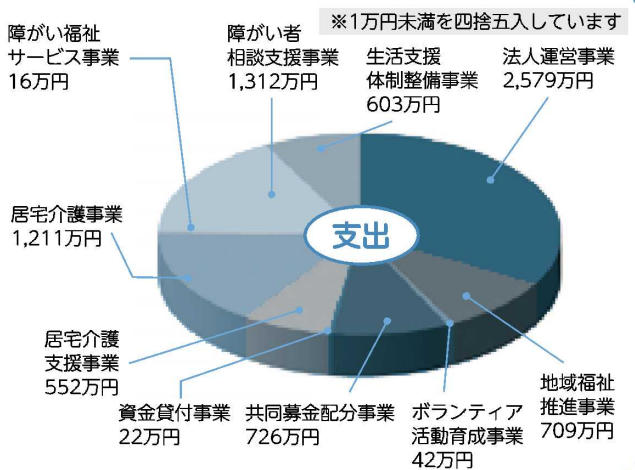
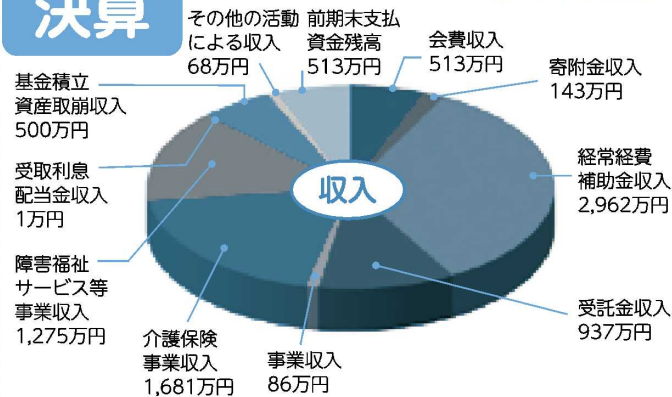
手話講座やボランティア入門講座等を開催し、ボランティアを育成します。[1講座37名参加]

ボランティア交流会

ボランティア活動者を対象に、お互いの活動の理解を深める交流会を開催します。[4日間25名参加]

平成29年度 決算

翌年度への繰越額 906万円



暮らせるまち かにえ



共同募金配分事業

車椅子の無料貸出

ちょっとしたお出かけ時や一時的な利用にお貸ししています。[119台貸出]



ふれあいバス旅行

65歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、日帰りバス旅行を実施します。[106名参加]

敬老金の贈呈

99歳以上の皆さまへ祝い金を贈呈します。[12名贈呈]

社会見学

身体障がい者の皆さまを対象に、日帰りバス旅行を実施します。[110名参加]

子ども会活動の援助

子ども会活動中の傷害・賠償責任を補償する子ども会安全共済会の加入を補助します。[2,671名加入]

中学校卒業生徒へ祝品贈呈

ひとり親家庭等の中学校卒業生徒へ祝品を贈呈します。[11名贈呈]

福祉団体等へ助成

福祉団体やふれあい・いきいきサロンへ助成します。[福祉団体10か所、民間保育所1か所、町内会32か所、ふれあい・いきいきサロン6か所]

資金貸付事業

低所得等で資金にお困りの方に、生活福祉資金・小口資金などの貸し付けを行います。[相談件数41件]

居宅介護支援事業

ケアマネジャーが介護を必要とされる方のケアプランを作成し、さまざまな介護サービスの連絡・調整を行います。[ケアプラン作成 延べ391件、認定調査 延べ64件]

居宅介護事業

訪問介護事業

要支援・要介護認定を受けた高齢者の居宅へホームヘルパーを派遣し訪問介護を行います。[ホームヘルパー派遣 延べ610名]

介護予防・日常生活支援総合事業

訪問型サービスAの指定事業者として、要支援者の方を対象に掃除や洗濯等の生活支援サービスを提供します。

障がい福祉サービス事業

障がいのある方へホームヘルパーを派遣し訪問介護を行います。[ホームヘルパー派遣 延べ45名]

障がい者相談支援事業(町受託事業)

障がいのある方のいろいろな相談に応じ、情報提供や助言を行います。[相談支援利用者512名、相談件数 延べ1,462件、ケアプラン作成 延べ67件、モニタリング 延べ176件、認定調査 延べ57件]

生活支援体制整備事業(町受託事業)

「お互いさま」と思える暮らしやすい地域をみんなで作るお手伝いをします。平成29年度より「かにえまるとサポートセンター」を開設しました。[サポーター養成講座2回70名][センター登録 サポーター54名・利用会員26名、年間活動延べ613回、サポーター交流会10回243名参加]

多世代交流施設指定管理事業(町受託事業)

NEW

平成30年10月から指定管理者として「蟹江町多世代交流施設」の管理運営をします。町民の福祉向上と健康増進を図るとともに、世代間の交流を通じた活力ある地域づくりを図るため、広く町民の方に利用していただけるようにイベントや事業を提供し、地域福祉の充実を図り、安心・安全に暮らせるまちの実現を目指してまいります。

※平成29年度事業報告と決算は本会において閲覧することができます。

平成30年度 予算

翌年度への繰越額 119万円

